

普及活動情勢報告（令和2年4月分）

高吾農業改良普及所

露地ニラ栽培講習会を開催



4月2日、いの町農業公社でJA高知県仁淀川地区管内の露地ニラ生産者を対象に、露地ニラ栽培講習会を開催しました。管内の生産者5戸を含む15戸が参加しました。

普及所からは、定植から株養成期間の栽培管理と、病虫害対策としてヤネギアザミウマや白絹病などの防除のタイミングなどについての説明を行いました。生産者からは、「かん注処理と株元かん注処理の違いは？」など具体的で活発な質疑応答がありました。

普及所は今後も、定期的な個別巡回指導を行い、生育状況の確認と病虫害対策指導を行っていきます。

茶全員の開催



4月10日に集落活動センターくろいわでJA高知県佐川支所茶生産部会の全員会が開催され、生産者12名が参加しました。

普及所からは、台切り後の管理や補助事業等について説明しました。

生産者からは、「ハンマーナイフモアは個人で購入するより、団体で購入して台切りに使いたい」、「防霜ファンの事業を中古でも使えるようにしてほしい」等の意見が聞かれました。

普及所は今後も茶の生産維持に向けて、省力化技術や増収技術等について情報提供していきます。

夏秋高糖度トマト現地検討会の開催



4月3日、4月10日、4月17日にかけて仁淀川町で栽培されている夏秋高糖度トマトの現地検討会が開催され、トマト生産者4戸が参加しました。高糖度トマトの生産には、定植から着果までの土壌水分コントロールが重要視されています。定植が早い生産者は着果し始めてます。

普及所からは、生育診断による土壌水分の調整方法について助言指導を行いました。

生産者からは「土壌水分管理は適切にできているのだろうか？」とか「水分の調整方法は？」といった意見が出されてます。

普及所では今後、定期的な巡回指導を行いながら高糖度トマト生産に向けた助言指導に取り組んでいきます。

露地ニラの生育状況を確認



3月末から、佐川町では露地ニラの定植作業が始まりました。普及所は、施設ニラとあわせて、巡回により生育状況を確認しました。定植後に十分なかん水を得たほ場では、順調に活着していることが確認できました。

今年は、タネバエの被害が現在2ほ場で見られます。新型コロナウイルス感染症対策によって講習会などの開催ができなくなったため、出荷場に技術資料を掲示することで対策の周知徹底を図りました。

普及所では、今後も要請に対応するかたちでの巡回指導活動を行い、病虫害発生状況やその対策などは出荷場に資料を掲示することによって栽培指導を行います。